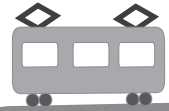
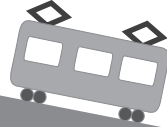


秋の防災特集

2005. 8. 23

防災センターへ  
行ってきました!



東海大地震が起きるといわれている東海地域。  
私たちが日ごろから地震に対して備えておく必要があります。

しかし、マグニチュード8クラスの地震を実際に体験した事のある人は、そうはないでしょう。俺だってそうです。

そんな私たちが実際に地震に遭遇した時、果たして冷静な行動が取れるのか？

**じゃあ、体験してみようぜ、マグニチュード8クラスを!!**  
って事で、『名古屋市港防災センター』に行ってきました。



Text : Para

**早く着けば良いってもん  
じゃないです**

名古屋市の防災活動の拠点である名古屋市港防災センター。



↑これが防災センター。建物よりも塔のほうが目立つ。

この施設では、防災についての各種情報の提供のほか、起震室による地震体験、煙の中での避難

体験などが行なえます。

場所は、名城線港区役所駅から徒歩で5分ほど、港区役所の隣。こんなところにあるなんて知りませんでした。駅からこんな近いと思ってなかったので、**到着した時にはまだ開館していない**というアクシデント発生。

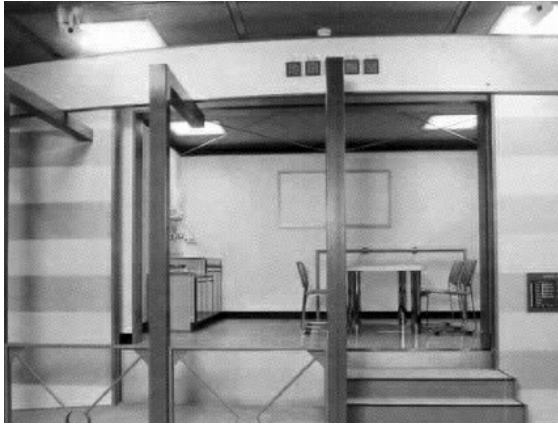
・・・ちょっと早く来すぎたかな？

メンバーからの冷たい視線を浴びながら待つ事5分、ようやく中に入れました。

館内では新潟県中越地震・スマトラ沖地震の被害、防災についての情報等を伝えるパネルが展示されており、地震の恐ろしさを感じ、防災のための情報、地震が起きたときの行動の仕方などを知ることができます。

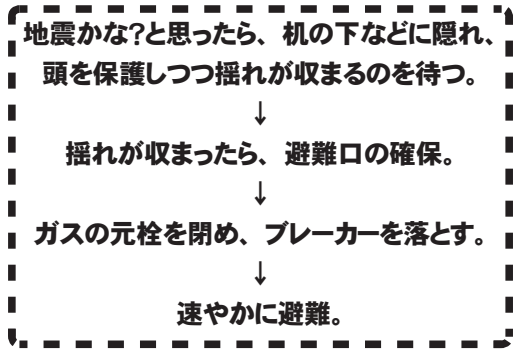
**揺れてる時は、  
何も出来ない!!**

ではまず、起震室で地震の揺れを体験してみましょう。キッチンを模した部屋の中に入ります。



↑ダイニングキッチンを模した地震体験室。

係員の方から、地震の時にすべき行動について教えていただきます。基本的には以下の流れです。



阪神・淡路大震災では、ショートした配線が元で地震後に火事が起きました。ガスの元栓だけでなく、ブレーカーを落とすのもお忘れなく。

説明の後、実際に地震を体験します。今回体験したのは、関東大震災。マグニチュード7クラスの地震です。

あ、揺れはじめました。

**ガタガタガタガタ!!!**



## かなり怖い!!

しかも揺れが長い! **揺れが完全に収まるまで1分ほどかかりました。**机の下に逃げ込んだのですが、激しい揺れで頭が机に何度もぶつかります。**机の脚を持っていないと、外に引きずり出されそうです。**

あ、ガスコンロからやかんが転げ落ちましたね。中にお湯が入ってたら、火傷は間違い無いです。

地震の揺れは想像以上に激しく、長く感じました。揺れが収まったところで、ガスの元栓をしめ、ブレーカーを落として避難。



体験前は、地震が起きたと思ったら火を消したり出来るかな~とか思っていたんですが、**それは甘かったです。**結局、メンバー全員机の脚にしがみつので精一杯でした。**いざ揺れ始めると身を守るのがやっとで、他の行動をしている余裕などありません。**だからこそ、日ごろから地震に備えておく事が大事なんだと実感しました。**発生してからでは遅いのです。**

## 気付いたら死んでました

地震の後によく起こるものという火災です。**阪神淡路大震災でも、多くの方が地震後の火災で亡くなりました。**

という事で、次は煙避難体験です。

設定は、夜間に地震が起こり火災が発生、煙が充満し、しかも停電で真っ暗な室内から脱出するという過酷なもの。



↑ 食堂での火災という設定の煙避難体験室。

体験室には1~3畳の部屋がいくつかあるため、自分のいる部屋から手探りでドアを開けて出口のある部屋まで移動し、避難する事になります。部屋に充填している煙は無害なものですが、**実際の煙は有毒ガスの塊です**。以下のポイントに注意して避難しましょう。

- ・姿勢を低くし、煙を吸わないようにする。
- ・ハンカチなどを口に当てながら移動する。
- ・周りが見えないときは、壁伝いに移動。
- ・迅速に避難する。

この他にも、伊勢湾台風の話の聞いたり、地震に関する情報の閲覧・ビデオ上映など、様々な角度から災害について知る事ができます。

今回、防災センターを訪れた事で、地震をはじめとする**災害の恐ろしさ、日ごろから災害に備えておく重要性**を改めて感じました。

**防災の意識を高めるためにも、是非一度行ってみたいはどうでしょうか？**

名古屋市港防災センター  
場所：名古屋市港区港明1-12-20  
電話：052-651-6220  
HP：<http://www.shobo.city.nagoya.jp/bousaicenter/MCENTER/mcenter.htm>  
アクセス：地下鉄名城線「港区役所」下車。1番出口北へ徒歩3分。

ここで気付いたのですが、**俺を含めてメンバーの約半数が、ハンカチを所持していません。**

みんなかなりいい根性してます。

真っ暗な室内の中を、手探りで進みます。無害とはいえ、かなりけむたいです。何とか必死に出口までたどり着き、一安心したと思ったら、

**メンバーが一人足りません。**

『おい、あいつ大丈夫か?』

とか言っていると、最後の一人が**2分かけて出てきました**。ちなみに、**避難経路の長さは10mほどしかありません。**

**実際の火災なら確実に死んでますね。**

ここで、メンバーの結果発表。

**たった10mの距離を無事避難できたのは、9人中たった4人でした。**

残り5人は、最長の2分を含め全員1分以上かかっています。暗闇の中の火災という、最悪な条件下とはいえ、これはかなりショッキングな結果です。

**火災に対する認識がいかに甘かったかを思い知りました。**